

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

モニタリング調査ってどうやってやるの？

この動画を見ればわかります！

森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業の推進に向けて、活動組織がモニタリング調査を円滑に行うために代表的な調査方法を紹介・解説する動画を作成しました。YouTubeでご覧いただけます。



動画

「森林・山村多面的機能発揮対策交付金 モニタリング調査の解説」

内容 (29分)

- ① 交付金事業やモニタリング調査の概要
- ② 標準地の設定
- ③ 相対幹距比
- ④ 胸高断面積
- ⑤ 林分幹材積
- ⑥ 資源利用量
- ⑦ 北海道地域協議会のその他の取組み

<https://www.youtube.com/watch?v=GCjL28115rg>

基礎資料

- 林野庁発行：森林・山村多面的機能発揮対策交付金モニタリング調査のガイドライン
- 北海道地域協議会発行：交付金の効果の調査・確認方法について（モニタリング調査の手引き）、立木幹材積表、林分幹材積調査野帳

製作：北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会

企画・監修：森林・山村アドバイザー 大堀尚己

撮影・編集：NPO法人 北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

撮影・編集・AI音声担当：動画クリエイター 榎引康平

協力：特定非営利活動法人 北海道森林ボランティア協会、苫東和みの森運営協議会、

特定非営利活動法人ネイチャープログラム、美深・美林の会、

ベリーファームとようら里山部、真狩森の会

北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1番地 林業会館3F 公益社団法人森と緑の会内

TEL:011-261-9022 FAX:011-261-9032 morimidori@h-green.or.jp



半径4mの円形標準地の測定



4mの釣り竿を使っては平方メートルの標準地を2箇所つくってよいです。



胸高直径 / 2 = 半径

半径 × 半径 × 3.14 (円周率) = 胸高断面積



相対幹距比調査の参考例

標準地の面積
本数 相対木あたりの面積
 $100\text{m}^2 \div 9 = 11.11\text{m}^2$

樹木径の平均値(μ)
 $\sqrt{11.11} = 3.33\text{m}$



これで、相対幹距比(Sr)を計算する準備が整いました。

